

岩手県金融経済概況（平成 27 年 10 月）

1. 概 況

県内経済は、緩やかな回復を続けている。

最終需要の動きをみると、個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの底堅く推移している。設備投資は、増加している。公共投資、住宅投資は、高水準で推移している。

生産は、横這い圏内の動きとなっている。雇用・所得情勢をみると、労働需給は改善しているほか、雇用者所得は持ち直しの動きがみられる。

消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を下回っている。

2. 最終需要

(1) 個人消費

個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの底堅く推移している。

百貨店売上高（平成 27 年 10 月）は、4 ヶ月振りに前年を上回った（前年比 +1.6%）。

スーパー売上高（平成 27 年 9 月；全店舗ベース）は、6 ヶ月連続で前年を上回った（前年比 +3.4%）。

新車登録・届出台数（平成 27 年 10 月）は、2 ヶ月連続で前年を下回ったが、減少幅は縮小した（10 月の「登録車＋軽」前年比△5.2%）。

(2) 建設投資（公共投資、住宅投資、設備投資）

公共工事請負金額は、高水準を維持している。

—— 公共工事請負金額（平成 27 年 10 月）は 4 ヶ月振りに前年を下回った（前年比△30.1%）。

新設住宅着工戸数（平成 27 年 9 月）は、5 ヶ月振りに前年を下回った（前年比△14.8%）。

—— 主力の持家は3ヵ月振りに前年を上回った（前年比+6.1%）ものの、貸家は2ヵ月連続で前年を下回った（同△13.5%）ほか、分譲も前年高水準（平成26年9月前年比+26.5%）の反動から5ヵ月振りに大幅な前年割れ（前年比△79.8%）となった。

民間設備投資（短観ベース；平成27年度計画）は、全産業ベースで前年を上回っている。

—— 平成27年度計画は、3年振りに前年比二桁増（前年度比+22.4%＜修正率+5.6%＞）となっているほか、製造業・非製造業とも上方修正されている（修正率；製造業+6.0%・非製造業+4.9%）。

県内の官民建設工事全体の出来高総計（平成27年9月）は、引き続き前年を上回っている（前年比+5.7%；平成24年2月以降44ヵ月連続）ものの、前年比伸び率は6ヵ月振りに一桁台となった。

3. 生産動向

鉱工業生産指数（季節調整値；平成27年9月）は、3ヵ月振りに前月を下回った（前月比△2.2%）。なお、四半期の動きをみると、1～3月（前期比+4.2%）まで2四半期連続で増加したあと、4～6月は減少（同△3.6%）となり、7～9月は小幅プラス（同+0.4%）となっているなど、横這い圏内で推移している。

—— 9月の動向を主要業種別にみると、生産用機械、食料品、プラスチック製品は増加している。一方、電子部品・デバイス、印刷業、情報通信機械は弱めの動きとなっている。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、労働需給は改善しているほか、雇用者所得は持ち直しの動きがみられる。

有効求人倍率（季節調整値；平成27年9月）は、1.21倍となった。

—— 平成25年5月以降29ヵ月連続で1.00倍以上を記録。

雇用保険被保険者数（民間企業中心の全数調査）は、増加基調を維持している（前年比 平成27年9月+1.0%；平成24年3月以降43ヵ月連続で増加）。

名目賃金指数は、3ヵ月振りに前年を上回った（平成27年8月 前年比+5.9%）。

雇用者所得（県内合計値；8月）は、常用雇用指数が4ヵ月連続で前年を下回ったものの、名目賃金指数が前年を上回ったことから、3ヵ月振りに前年を上回った（平成27年8月 前年比+4.7%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品）（平成27年9月）は、エネルギー価格の下落から、前年を下回った（前年比△0.4%；平成27年4月以降6ヵ月連続で前年を下回った）。

6. 企業倒産

企業倒産（平成27年10月）は、4件、4.4億円となり、件数は前年（2件）を上回った一方、金額は前年（9.8億円）を下回った。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金、貸出は、前年を上回って推移している。貸出約定平均金利は、低下地合いを辿っている。

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622（代） <http://www3.boj.or.jp/morioka/>